

同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科
専任教員 2015 年度研究業績一覧

A

秋林 こずえ

・ 共著

「法による暴力と人権侵害」島袋純、阿部浩己編『シリーズ日本の安全保障 沖縄から問う日本の安全保障』岩波書店、2015 年、pp.141-164。

「軍事主義と性暴力」沖縄県教育庁文化財課史料編集班編『沖縄県史 各論編 8 女性史』沖縄県教育委員会、2016 年、pp.544-559。

・ その他(書評、エッセイなど)

「女性つながりで平和な世界を」『I おんなの新聞』新年号、2015 年 12 月。

「ジェンダー・エッセイ テロと安全保障——軍事化とジェンダーの視点から」『カテゴリー・エッジ』第 56 号、2016 年 2 月 29 日。

「基地・軍隊——ジェンダーの視点から抗する」『現代思想 総特集辺野古から問う』2 月臨時増刊号、2016 Vol.44-2、青土社、pp.154-159。

「オスプレイ問題」, 「外国軍基地撤廃国際ネットワーク」, 「反基地運動」広島市立大学平和研究所編『平和と安全保障を考える事典』, 2016 年, 法律文化社。

・ 招待講演など

“Militarization of Japan” Independent and Peaceful Australia Network Public Forum “Dangerous Allies?”, Brisbane, Australia, July 8, 2015.

“War, Human Rights of Women, and Accountability: Global Movements” 2015 International Symposium In Commemoration of the 70th Anniversary of the Liberation “Thinking of Women in the Era of War and Violence”, Seoul, Korea, August 14, 2015.

「東アジアの平和構築にフェミニストたちはどうコミットしていくことができるのか」アジア女性資料センター創立 20 周年記念シンポジウム「フェミニストがつなぐ 東アジアにおける平和構築」国立オリンピック記念青少年総合センター, 2015 年 12 月 12 日。

C

Gavin James Campbell

・ 論文

“An Unbroken Chain Between Us: Thoughts on Missionary Encounters,” *Doshisha American Studies* Vol.51, 2015, pp.1-20.

“All Sharers in the Blessed Knowledge: Niijima Jō’s Crusade for a Christian Japan,” in Regina D. Sullivan and Monte Harrell Hampton, eds., *Varieties of Southern Religious History: Essays in Honor of Donald G. Mathews*, University of South Carolina Press, 2015, pp.162-176.

“God and the Gorilla: Religion and Science at Niijima’s Amherst,” in 『新島研究』第107号2016年2月, pp.37-53.

・招待講演など

「自分探しへのお互いの旅:新島先生とワタシ」第173回新島襄生誕記念会 2月12日2016年

新島論文賞 第173回新島襄生誕記念会 2月12日2016年

G

Anne Gonon

・論文

“ Le féminisme à l’épreuve d’une catastrophe nucléaire – Mères, nature et care dans le Japon d’après-Fukushima “, *Cahiers du genre – Genre et inégalités, environnementales : nouvelles menaces, nouvelles analyses, nouveaux féminismes*, N°59/2015, pp.153-171.

“ Quelles vies pour les corps irradiés? Désorientation et résistance après l’accident nucléaire de Fukushima “, *Raison Publique – Care, Capabilités, Catastrophe*, novembre 2015. (<http://www.raison-publique.fr/article770.html>)

・学会報告

“ The Fukushima Disaster or how youths are drawn into politics ”, Being Young in aging societies – Japan and Europe, Venice, Ca’ Foscari University of Venice, November 12-13th, 2015.

“ From Hiratsuka Raichō to the Nuclear Catastrophe at Fukushima – some problems with the practice of care ”, Workshop : The meaning of Care in different traditions, Kyoto, Doshisha, March 14th, 2016.

巖 善平

・共著

「第1章 戸籍制度改革と農民工の市民化」加藤弘之・梶谷懐編『二重の罟を超えて進む中国型資本主義』ミネルヴァ書房、2016年3月、pp.21-42。

「第1章 「新常态」の中国と改革の意味——「100年目標」へ避けられぬ構造転換」日本経済研究センター『中国 新常态（ニューノーマル）に挑む——長期安定への道標』（2015年度中国研究会報告書）、2016年3月、pp.1-18。「第6章 人口問題、少子高齢化への挑戦——カギ握る戸籍・定年制度改革の成否」同、pp.91-105。

・論文

「戸籍制度改革与農民工的市民化」『浙江工商大学学报』2015年第5期、pp.117-122。

「改革開放以降の農業問題と政策展開」『農業と経済』第81巻第11号、2015年12月号、pp.10-18。

「中国の大都市における教育拡大と教育達成の決定要因——天津市民調査に基づく実証分析（魏禕・巖善平による共著、査読あり）『中国研究月報』第69巻第12号、2015年12月、pp.1-15。

「中国の農村と都市における就業率およびその決定要因：CHIP調査1988-2010に基づく実証分析」『中国21』第34号、2016年3月、pp.81-104。

・その他(書評、エッセイなど)

「海外の中国研究について考える」『日本現代中国学会 ニューズレター』第46号、2015年10月、pp.1-3。

「書評・浅見淳之『農村の新制度経済学——アジアと日本』」『農林業問題研究』第51巻第3号、2015年12月、pp.239-241。

「1人っ子政策の終焉」『エコノミスト』2015年12月21日、pp.41。

NHK・クローズアップ現代「一人っ子政策は廃止されるけど…中国 少子高齢化のジレンマ」出演、2016年01月28日。

「1人っ子政策の弊害 戸籍のない闇子」『エコノミスト』2016年02月02日、p.42。

「中高速成長の可能性 なお」『日本経済新聞』経済教室、2016年2月24日。

・学会報告

「中国の大都市における教育拡大と教育達成の決定要因——天津市民調査に基づく実証分析（魏禕・巖善平による共同発表）」2015年6月6日、日本現代中国学会関西部会大会自由論題報告（京都、龍谷大学）。

“The Changing Faces and Roles of Communist Party Membership in China: An Empirical Analysis Focused on Determinants of Job Choice, Promotion and Earnings in the Labor Markets” July 10, 2015, APEA 2015 In Taiwan(National Taiwan University).

「企画兼討論者：共通論題・21世紀における中国のイノベーションと“中国製造2025”」2015年10月12日、日本華人教授会議第12回年次国際シンポジウム（東京、東京大学）。

「中国における労働参加率とその決定要因」2015年10月18日、アジア政経学会秋季大会自由論題報告(水戸、常磐大学)。

“Comments on Professor Miyazaki’s presentation: Decomposition of Redistributive Effect of Japanese Personal Income Tax 1984-2009”October 30, 2015, Joint Workshop on China, Japan and the Asian Economy in Great Changes in Nagoya University.

「中国における学歴教育の実証研究」2015年11月7日、中国経済経営学会全国大会自由論題(京都、龍谷大学)。

・招待講演など

「如何解読中国経済」中華経済研究院、台北、2015年7月8日。

「中国の人口転換と経済」PHP研究所研究会、東京2015年7月24日。

「中国における戸籍制度改革、農民工の市民化と都市化政策」中国農民工問題研究会、広島大学、2015年8月5日。

「中国経済奇跡是怎样鍊成的?——兼析中国経済的下一步」第六屆轉型与發展双年会「産業升級与中国經濟的未来——人口轉型、金融市場与産業政策」(復旦大学中国社会主义市場經濟研究中心[CCES]主催、牛津大学技術与管理發展中心[TMCD]と中国経済経営学会[JACEM]共催)、上海2015年9月7日。

「中国は世界一の経済大国になるか?」、ひょうご講座「超大国への道を歩む中国の実態」、神戸、2015年9月24日。

“The Labor Force Participation Rate and Its Determinants in Rural and Urban China: An Empirical Research Based on CHIPS 1988-2010”世界中国学論壇(国務院新聞弁公室と上海市人民政府共催)、上海、2015年11月20日。

「中国における人口転換と経済成長」日本経営工学会関西支部、大阪工業大学、2015年10月23日。

「日本経済發展模式以及中日經貿合作前景」Asia-Pacific Executive MBA (Chinese, NUS Business School)、京都、2015年11月24日。

「中国経済の持続的成長は可能か」岡山商科大学孔子学院主催公開講演会、岡山、2016年1月13日。

「グローバル時代における中国知網の役割とあるべき姿」国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)中国総合研究交流センター・同方知網(北京)技術有限公司主催シンポジウム

「中国研究を支える学術情報データベースのあり方」、京都、2016年1月22日。

「我国城郷就業率的变化趨勢及其決定机制——基于CHIP1988-2010の実証分析」北京師範大学・中国收入分配研究院、北京、2016年03月9日。

「政治資本对就業、晋升、收入的影响——基于CHIPS1988-2002の実証研究」中国社会科学院・人口与労働經濟研究所、北京、2016年3月10日。

・社会活動

中国経済経営学会会長(2014年4月～2016年11月)。

アジア政経学会『アジア研究』書評委員長(2015年6月～2017年5月)。

日本現代中国学会理事(2014年10月～2016年10月)。

日本華人教授会議幹事(学術交流委員会・政治経済委員会副査)。

I

池田 啓子

・招待講演など

“Who Cares?: Care-giving for Elderly in the Age of Globalization,” Harvard's Asia Center's Symposium entitled *Improving the Quality for Eldercare in China and Asia: Models, Methods, and Contexts*, Oct 16-17 at Harvard Center, Shanghai.

・その他

以下のウェブサイト作成に関与 “NCC Online Guide to English-language Publishing for Japanese Scholars,” Co-executive editor (with Jordan Sand), North American Coordinating Council on Japanese Library Resources.

<http://guides.nccjapan.org/publishinginenglish/home>

・学会活動

アジアにおけるアジア学会 (AAS-in-ASIA 2106@Doushisha) 学会委員長

Core-Member of the AAS-in-Asia Committee, the Association of Asian Studies

Co-Chair of the Program Committee, AAS-in-ASIA 2016, the Association of Asian Studies

Editorial Board of *Comparative American Studies: An International Journal*, SAGE Publication, ISSN 1447-5700. International Advisory Board of IFUSS

(International Forum for US Studies) at University of Illinois, Urbana, Champaign

・社会活動

NPO 法人、ウィメンズ・アクションネットワーク、理事

今井 ナタニエルアゴラ

・単著

Technology Transfer and Economic Growth in Sub-Saharan African Countries – Lessons from East Asia, Springer, 2016, 250 pp.

・編著

Inclusive innovation for sustainable development: conference proceedings (edited by Nathaniel O. Agola and Alan Hunter), Kyoto: Doshisha University GRM Program, 2015, 376 pp.

・ **学会報告**

"5Ps of Innovation Space : How to Effectively Innovate and Serve at the Table of Inclusive Innovation", GRM International Conference 2015 : Inclusive Innovation for Sustainable Development, Doshisha University, 2015, July 11-12.

・ **社会活動**

Special Advisor to Kisumu County Governor, Republic of Kenya – Project Finance and PPPs (Advisory Services and Concept Development for Industrial Park)

J

鄭 柚鎮

・ **その他(書評、エッセイなど)**

「軍事的暴力に抗するということ」『越境沖繩』第1号<創刊号>、2015、pp. 78–82。

・ **学会報告**

「当事者になる、代弁と代弁の間ーサバルタン研究の方法論を中心にー」、2015 韓国女性学会第31次春季学術大会、漢陽女子大学校（ソウル）、2015年6月20日。

K

加藤 千洋

・ **論文**

「中国革命と唐辛子」『帝塚山学院大学国際理解研究所紀要』41号、2015年9月、pp.5 - 34。

・ **その他**

連載「北京・京都 二都物語」『公益社団法人日中友好協会機関紙・日本と中国』2015年7月第1回～2016年3月第8回

・ **学会報告**

「日中関係と報道ー戦後70年、記者交換実現から半世紀に再考する」高麗大・同志社大共催学術シンポジウム「東アジアの記憶と未来ー日韓条約50年、解放／敗戦70年」、同志社大学、2015年7月18日。

「日本の中国研究を問う」現代中国学会第65回学術大会共通論題座長、同志社大学、2015年10月24日。

「歴史的変動期の世界秩序とアジア：南シナ海問題と日本の進路」同志社大学南シナ海研究

センター、市民外交研究センター主催シンポジウム、同志社大学、2015年12月18日。

・招待講演など

「中国の報道、日本の中国報道」立教大学、茨城大学共催講演会、立教大学、2015年5月23日。

・同志社公開講座 in Tokyo (同志社大学東京オフィス)

「公民から読み解く中国」(2015年5月22日)「水から読み解く中国」(6月5日)「民族から読み解く中国」(6月19日)「人口から読み解く中国」(7月3日)「メディアから読み解く中国」(7月17日)

・朝日カルチャーセンター公開講座

「習近平の中国—反腐敗闘争で何が起きているか」(2015年6月12日、大阪中之島)「日本列島縦断 国境地帯を行く」(6月20日、横浜、12月5日、神奈川県藤沢)「膨張する中国—その海洋進出と「一带一路」構想の狙いは」(9月18日、大阪中之島)「体験的日中メディア比較論—多元化する中国社会、日本メディアはどう報じるか」(12月11日、大阪中之島)「南シナ海の波高し—米中日関係を考える」(2016年2月19日、大阪中之島)

「グローバル化時代の国境とは」同志社教育講演会、同志社大学、京都、2015年11月14日。

「激変する中国社会と普通の人々」早稲田大学エクステンションセンター中野校連続講座、2015年10月6日、12月8日。

「大国中国のジレンマ—その強みと弱み」日中友好協会岐阜県本部講演会、岐阜朝日大学、2015年11月28日。

「習近平の中国—見えてきた内外政策の輪郭」京都高等学校社会科学研究会春季研究大会、ウイングス京都、2015年5月22日。

「中国の描く新型大国関係とは」帝塚山学院大学国際理解講座、帝塚山学院大学、2016年2月13日。

・大阪船舶倶楽部講演会「緊迫化する南シナ海情勢」大阪船舶倶楽部、大阪大学中之島センター、2016年3月7日。

・社会活動

テレビ出演「BS朝日2時間スペシャル京都暮らし路地旅」番組企画・ナビゲーター、2015年9月29日放送。

テレビ出演「報道ステーション」(テレビ朝日系)コメンテーター(随時)

菅野 優香

・論文

『クィア・LGBT映画祭試論』『現代思想』43号、2015年10月、pp.202-209。

・学会報告

“Queer Connectivity: Film Culture and Festivals in Japan,” Conference: Representations and Self-representations of Queer(s) in East Asia, University of Vienna, Vienna, Austria, March 20, 2015.

“Queer Film Festivals: What Can Cinema Do?” Kinema Club XV/Nippon Connection, Goethe University Frankfurt, Frankfurt, Germany, June 6, 2015.

・招待講演など

「美輪明宏のクィア・スターダム」、「アジアの中の日本文化」研究センター・セミナー・シリーズ IX、名古屋大学、2015年7月13日。

「クィア・LGBT映画祭、スペース、コミュニティ」公開シンポジウム「マイノリティとクィア・スペース」（公開シンポジウム）、東京大学、2016年1月24日。

“Film Festivals as Social Space: Local Queer Activism and Community in Japan,” Weatherhead East Asian Institute, Columbia University, NY, February 4, 2016.

菊池 恵介

・論文

「〈文明の衝突〉論のどこが問題か？——〈シャルリー・エブド〉襲撃事件を考える」『一神教学際研究（JISMOR）』11号、同志社大学一神教学際研究センター、2016年3月、pp.11-21.

・学会報告

「ハイチへの賠償金返還を求めるフランスの黒人運動」Doshisha Studies in Colonialism : DOSC、同志社大学、2015年12月26日。

「ギリシャ危機の背景——政府の放漫財政か、欧州統合の構造的問題か？」大阪社会フォーラム、エル大阪、2015年7月31日。

M

松久 玲子

・共著

「ニカラグア：新自由主義のはざまに生きる女性たち」国本伊代編『ラテンアメリカ 21世紀の社会と女性』新評論、2015年12月、pp.269-284。

峯 陽一

・編著

What Colonialism Ignored: 'African Potentials' for Resolving Conflicts in Southern Africa, (edited by Sam Moyo and Yoichi Mine) Mankon, Cameroon: Langaa RPCIG, March 2016, 388 p.

執筆担当箇所：Chapter 1: “Introduction: African Potentials for Conflict Resolution and Transformation” (Sam Moyo and Yoichi Mine) pp. 1-34 ; Chapter 7: “Sharing Power for Conflict Resolution? Pluralism, Integrationism and African Potentials”, pp. 211-46.

・ 共著

“Bridging State and Local Communities in Fragile States: Subnational Institutions as a Strategic Focus to Restore State Legitimacy” (Ryutaro Murotani and Yoichi Mine), in: Laurence Chandy, Hiroshi Kato and Homi Kharas eds, *The Last Mile: In Ending Extreme Poverty*, Washington, D.C.: Brookings Institution, July 2015, pp. 76-94.

“Moving Development and Security Narratives a Step Further: Human Security in the Human Development Reports” (Oscar A. Gómez, Des Gasper and Yoichi Mine), *Journal of Development Studies*, Volume 52, Issue 1, 2016, pp. 113-29. (査読付論文)

“Embracing Human Security: New Directions of Japan’s ODA in the 21st Century” (Sachiko G. Kamidohzono, Oscar A. Gómez and Yoichi Mine), in: Yasutami Shimomura, John Page, and Hiroshi Kato eds, *Japan’s Development Assistance: Foreign Aid and the Post-2015 Agenda*, Basingstoke: Palgrave Macmillan, November 2015, pp. 205-21.

・ その他

早川真悠著『ハイパーインフレの人類学』人文書院(『図書新聞』3213号 2015年7月4日)。

浅枝敏行著『日本人ビジネスマン、アフリカで蚊帳を売る』東洋経済新報社(共同通信 2015年9月配信)。

・ 学会報告

「アフリカ・アジアの人間の安全保障」、「人間の安全保障と平和構築連続セミナー」第4回、東京大学「人間の安全保障」プログラム、2015年7月3日。

「人間の安全保障の概念－図式的な整理」JICA 研究所ランチタイムセミナー、2015年9月4日。

「アフリカの紛争予防と人間の安全保障－研究成果の含意」JICA 研究所ランチタイムセミナー、2015年9月11日。

「東アジアの地域協力と人間の安全保障－中間報告」JICA 研究所ランチタイムセミナー、2015年9月18日。

“The Making of the Asian Network of African Studies: Perspectives from A-ASIA’s counterpart in Asia” (Roundtable Convenor), AFRICA -ASIA: A NEW AXIS OF KNOWLEDGE (The inaugural conference of Association of Asian Studies in Africa), School of Law, University of Ghana. Accra, Ghana, 25 September, 2015.

“The Rebirth of Bandung and Beyond: Asia-Africa Relations in Historical Perspectives” (Keynote Speech), *Africa’s Engagement with Japan, China, South Korea and India: A Comparative Perspective (International Conference)*, Centre for African Studies, Jawaharlal Nehru University, New Delhi, India, 9 October, 2015.

「アフラシアを夢見るーアフリカとアジアの架橋を夢見る国際関係論」、グレーター東大塾「飛躍するアフリカと新たな視座」第10回、東京大学伊藤国際学術センター、2015年11月25日。

“The Basic Concept of Human Security: Graphic Illustrations”, *The 5th Annual Conference of Japan Association for Human Security Studies*, International Christian University, Tokyo, 13 December, 2015.

“Chain of Voices : Social Movements in South Africa and Japan ca. 1970”, École des hautes études en sciences sociales (EHESS), Raspail, Paris, 3 March, 2015.

“Dreaming Afrasia: Afro-Asian Relationship in the 21st Century Afrasia”, Fondation France-Japon / École des hautes études en sciences sociales (EHESS), Avenue de France, Paris, 4 March, 2015.

“Preventing Violent Conflict in Africa: Research Findings and Policy Implications”, École des hautes études en sciences sociales (EHESS) - Institut des Mondes Africains (IMAF), Raspail, Paris, 8 March, 2015.

・社会活動

Secretary-General, Japan Association for Human Security Studies

Editorial Advisory Board Member, *Review of International Studies* (Cambridge University Press)

Advisory Board Member, *Insight on Africa* (Routledge)

Advisory Board Member, *African Studies Monographs* (Center for African Studies, Kyoto University)

日本平和学会理事

日本アフリカ学会評議員

特定非営利活動法人「人間の安全保障」フォーラム理事

特定非営利活動法人日本アフリカ協議会理事

N

内藤 正典

・著書

『トルコ中東情勢の鍵をにぎる国』、集英社、2016年2月、237頁。

・共著

『イスラームとの講和 文明の共存をめざして』（中田考との共著）、集英社新書、2016年3月、247頁。

・論文

「人質事件から学ぶべきこと グローバル化するテロリズムとリテラシーの危機」、『世界』no.867、岩波書店、2015年4月、53-62頁。

「強権大統領への一撃—トルコ総選挙で与党 AKP 過半数割れ」、『世界』no.872、岩波書店、2015年8月、20-28頁。

「拡大する難民危機—解決は可能か」、『世界』no.875、岩波書店、2015年11月、149-153頁。

「ムスリムの分断を狙ったパリ同時多発テロ」、『世界』no.877、岩波書店、2016年1月、137-143頁。

・その他

「メディアは「イスラム国」のような未知の敵にもロジカルな思考で迫れ」『Journalism [ジャーナリズム]』no.300、朝日新聞社、2015年5月、122-130頁。

現代のことば「言説の大国」、「京都新聞」夕刊、2015年5月28日。

「大統領の権威主義にノー—クルド躍進、民主化の証し」識者評論、共同通信社配信、2015年6月8日、中國新聞、高知新聞。

現代のことば「戦争に巻き込まれるとはどういうことか」、「京都新聞」夕刊、2015年8月6日。

「日本の米国追随誰も歓迎しない—中東から見る集団的自衛権の議論」『朝日新聞』大阪夕刊、2015年8月26日。

「地図には見えない人びと—ヨーロッパのムスリム—フランスとドイツの場合」『Kotoba コトバ』no.21、集英社、2015年9月6日、72-77頁。

「大国の中東政策にも責任—『恥を知れ』と地元紙」識者評論、共同通信社配信 2015年9月9日、信濃毎日新聞、中國新聞、岐阜新聞、山梨日日新聞、福井新聞、徳島新聞、下野新聞。

現代のことば「ジャーニー・オブ・ホープ」、「京都新聞」夕刊、2015年10月2日。

現代のことば「鯖」、「京都新聞」夕刊、2015年12月2日。

「欧州の難民問題—中東の独裁体制こそ震源」、週刊「東洋経済」、東洋経済新報社、2015年12月21日、96-97頁。

「『IS』はイスラム世界が生んだ病理—イスラム教徒にしか治療できない」、週刊「エコノミ

スト」、毎日新聞出版、2016年1月26日、74-76頁。

「NEWS ニュースが知りたい テロはなくせないの?」、月刊「ジュニアエラ」、朝日新聞出版、2016年2月、8-9頁。

「今月のエッセイ トルコは中東情勢改善のカギとなる」、「青春と読書」、集英社、2016年3月、24-25頁。

現代のことば「中欧の宝石スロベニア」、「京都新聞」夕刊、2016年3月31日。

・招待講演など

“Turkey's Plural Equation”, Séminaire du groupe de recherche sur la Turquie contemporaine au CERI, CNRS, 2015年4月13日。

「イスラームから見た『亀裂』あり方」日本学術会議シンポジウム、早稲田大学、2015年10月3日。

「混迷する中東・イスラーム世界」、海上保安大学校、2015年10月16日。

「いま、世界で何が起きているか—シリア難民問題と向き合う」福岡県立修猷館高校、2015年10月19日。

「ヨーロッパとイスラーム—最新の情勢を中心に」千葉市民文化大学、千葉市文化センター、2015年11月13日。

「中東情勢の展望と危機管理」経済同友会、第一ホテル東京、2015年11月27日。

「いま中東で何が起きているか—シリア内戦・難民問題・『イスラーム国』のテロ」加盟社論説研究会、共同通信社本社、2016年1月13日。

「いま中東で何が起きているか」、日本貿易会定例午餐会、日本貿易会A会議室、2016年1月15日。

「シリア内戦、難民の奔流、パリのテロ事件—すべてはどうつながっているのか?」信州大学人文学部多文化交流サロン、信州大学、2016年1月22日。

「内戦・難民・テロから考える領域国民国家体制の限界」、主権と空間研究会、立命館大学衣笠キャンパス、2016年1月27日。

「イスラームとその世界 私たちが知っておくべきこと」現代と親鸞の研究会、AP 東京八重洲通り、2016年2月3日。

「混迷深まる中東情勢の理解と展望—サウジアラビア・トルコの視点から：トルコ内政・外交に関する現状と課題」、国際経済研究所、トヨタ自動車本社、2016年2月17日。

「中東の崩壊とパリ同時多発テロ事件」、静岡日本東ロータリークラブ、ホテルアソシア静岡、2016年2月18日。

「安保法の適用・運用の危険性と問題点の解明—PKO活動・IS空爆を素材に—」日弁連主催シンポジウム、弁護士会館、2016年2月22日。

「イスラームと暴力—シリア内戦、難民問題、そしてテロの背景を探る」埼玉県高等学校社会科学教育研究会、埼玉県立浦和高校、2016年2月24日。

「中東崩壊の危機—シリア内戦・難民問題・『イスラーム国』」、北海道政経懇話会 札幌パー

クホテル 2016 年 3 月 18 日、2016 年 3 月 8 日。

「剛腕のトルコは中東崩壊を止められるか?」、日本トルコ協会、伊藤忠東京本社、2016 年 3 月 18 日。

「世界地誌学習の方向性—イスラム世界の現状と諸国家体制の危機から読み解く」日本地理教育学会 早稲田大学小野記念講堂、2016 年 3 月 20 日。

「中東崩壊の危機—シリア内戦、「イスラム国」、難民の奔流」、石川県経営者協会、ホテル金沢、2016 年 3 月 24 日。

・社会活動

2015 年 9 月 4 日、テレビ朝日 報道ステーション「“難民問題”解決策は...内藤教授に聞く」トルコから中継出演。

2015 年 9 月 7 日、テレビ朝日 報道ステーション「ヨーロッパを目指す難民たちトルコにはまだ 190 万人が...」VTR 出演。

2015 年 9 月 7 日、NHK ラジオジャパン「欧州へ向かう難民急増」出演。

2015 年 9 月 25 日、毎日放送 報道するラジオ「シリア難民について」出演。

2015 年 9 月 30 日、BS フジ プライムニュース「検証...安倍首相“国連外交”シリアの内戦と難民問題」出演。

2015 年 10 月 2 日、TBS ラジオ 荻上チキの Session22 「ロシアのシリア空爆、米政府が「反アサド政府組織を無差別に空爆」と批判」電話出演。

2015 年 10 月 12 日、テレビ朝日 報道ステーション「“過去最悪”のトルコ自爆テロ誰の仕業...中東流動化の危機」VTR 出演。

2015 年 11 月 16 日、テレビ朝日 スーパーJ チャンネル「パリ同時多発テロイスラム国との関係、世界への影響」出演。

2015 年 11 月 16 日、テレビ朝日 報道ステーション「パリ同時多発テロの背景 実行犯はどこから 目的は...」出演。

2015 年 11 月 16 日、東京 FM TIME LINE 「パリの同時多発テロの背景と世界の今後の対応」電話出演。

2015 年 11 月 16 日、J-WAVE JAM THE WORLD 「パリ同時多発テロ事件を受けて」電話出演。

2015 年 11 月 17 日、読売テレビ 情報ライブミヤネ屋「パリ同時多発テロ最新情報—IS 犯行?ベルギー拠点?シリアからの指令?」出演。

2015 年 11 月 17 日、TBS NEWS23 「『イスラム国』空爆の“戦果”は?死者 25 万人シリア内戦の現状」電話出演。

2015 年 11 月 18 日、TBS RADIO 荻上チキ Session 22 「パリ同時多発テロで仏警察が制圧作戦。フランスは空爆で連携へ」電話出演。

2015 年 11 月 20 日、読売テレビ 情報ライブミヤネ屋「パリ同時多発テロ“首謀者”死亡警戒かいくぐりフランス潜入か。最新分析」出演。

2015年11月28日、テレビ東京 田勢康弘の週刊ニュース新書「対テロに亀裂 ニッポンは...?」出演。

2015年12月1日、NHKBS1 国際報道 2015「対立が続くロシアとトルコ 解決の糸口は」電話コメント。

2015年12月4日、BSフジ プライムニュース「反『イスラム国』戦線の行方と錯綜する各国の利害...“テロとの戦い”次の一手」出演。

2015年12月11日、文化放送 大竹まことゴールデンラジオ「西欧諸国のイスラムフォビア」出演。

2015年12月24日、NHKBS1 国際報道 2015「IS(イスラム国)」出演。

2016年1月12日、テレビ朝日 報道ステーション「イスタンブールで“自爆テロ”10人死亡「IS」の可能性も」電話コメント。

2016年2月9日、TBS RADIO 荻上チキ Session 22「シリア紛争、難民問題」出演。

2016年3月23日、テレビ朝日 報道ステーション「ベルギー連続爆破テロ 犯行グループの“狙い”連鎖は止められるのか」出演。

2016年3月28日、毎日放送 報道するラジオ「移民(外国人労働者)」出演。

2016年3月29日、NHKBS1 国際報道 2016「徹底討論 テロとどう向き合うか」出演。

中西 久枝

・論文

“Politics of Performativity in Iran’s Nuclear Negotiations,” *Working Paper Series of State Security and National Integration in the Middle East*, 2015, p.1-19.

・その他

「国内避難民」(解説)『国際関係のなかの子どもたち』(初瀬龍平、松田哲、戸田真紀子編著)晃洋書房、267頁(157頁を執筆)

“Islam and Human Rights: Reflection on Muhammad Taghi Ja'afari's philosophy of human rights”, *Tehran Times*, November 16, 2015, p.7-8.

“Noruz is reminiscent of ‘Persian Empire’” *Tehran Times*, Noruz Special Issue, March 15, 2016, p.15.

・学会報告

“State Security and National Integration: Iran, Syria and IS,” at the International Symposium on “State Security and National Integration in the Middle East, Institute of Political and International Studies, Tehran, February 29, 2016.

・招待講演など

“Extremism in the Middle East,” International Conference on “Policy Studies, The Role of Iran Combatting Extremism in the Middle East,” Sasakawa Foundation Conference Room, Tokyo, November 26, 2015.

“Iran-America Relationship: Prospects for the Future,” at International Affairs and Diplomacy (Research Unit) of Notre Dame University, Beirut, March 17, 2016.

・社会活動

総合地球環境学研究所プロジェクト評価委員会委員長、
九州大学国際交流総合企画会議委員

TV出演：NHK週刊ニュース深読み「イラン核合意」2015年7月25日（土）8:00-8:45
「今こそ知っておきたい！中東・イスラーム入門～グローバル化を生きる必須教養～」男女
共同参画セミナー、ウィル愛知情報ライブラリ、2015年10月15日。

0

岡野 八代

・著書

『戦争に抗する——ケアの倫理と平和の構想』岩波書店、2015年10月、304頁。

論文

「ケアの倫理と福祉社会学との架橋に向けて」『福祉社会学研究』12号、2015年5月、pp.39-53。

「ケアの倫理の社会的可能性」『ジェンダーと法』12号、2015年7月、pp.12-23。

「慰安婦問題」と日本の民主主義」『抗路』1号、2015年9月、pp.66-79。

「平等とファミリーを求めて」『現代思想』vol. 43, no.16、2015年10月、pp.60-74。

「個人を育む家庭・家族の社会的意義——ケアの倫理からみた「自立」批判から」『日本家庭科教育学会誌』58巻3号、2015年11月、pp.133-143。

・その他

（書評）「歴史学研究会・日本史研究科編『「慰安婦」問題を/から考える』』『女性史学』25号、pp.116-120。

（書評）「日本軍「慰安婦」問題 web サイト制作委員会編・金富子・板垣竜太責任編集『Q & A 朝鮮人「慰安婦」と植民地支配責任 あなたの疑問に答えます』』『週刊読書人』3122号、4面。

・学会報告

「関係性アプローチと法理論——ジェンダー平等と暴力の観点から」法社会学会全体シンポジウム「ジェンダーと法理論」、首都大学東京、2015年5月10日。

基調講演「個人を育む家族・家族の社会的意義——ケアの倫理からみた「自立」批判から」
「いま進んでいる教育改革と家庭科」日本家庭科教育学会シンポジウム、鳴門教育大学、

2015年6月27日。

“‘Toward a Caring Democracy: A Philosophical Analysis of the Process of Reconciliation of the Issue of ‘Comfort Women’ in Japan”日本政治学会国際交流委員会企画 Nationalism and Reconciliation in East Asian Democracies、千葉大学、2015年10月10日。

・招待講演など

「日本軍「慰安所」制度とは何だったのか」「戦後70年を問う」連続講演会、エル大阪、2015年4月13日。

「海外で戦争する国にするの？」九条おおさかの会、エルおおさか、2015年5月3日。

「武力はひとを守らない——母親の経験から」第54回南勢地区母親大会、伊勢市観光文化会館、2015年5月24日。

「戦後70年——平和と民主主義」松阪九条の会、松阪市産業振興センター、2015年6月6日。

「日本軍「慰安所」制度はなぜ性奴隷制度なのか」愛知サマーセミナー、愛知淑徳中学校、2015年7月19日。

「戦争法案と立憲民主主義」木幡・六地藏憲法九条の会、2015年8月9日。

「「慰安婦」問題から何を学ぶか——同じ過ちを繰り返さないために」大阪教職員組合・夏季学校、2015年8月20日。

「戦後70年 憲法と女性——慰安婦問題にふれつつ」市立高校教職員組合・市立高校の教育を考えるつどい、2015年8月22日。

「日本軍「慰安所」制度とは何だったのか——戦争法とともに考える」平和と電気ネット、2015年10月4日。

「戦争をする国とはどんな国なのか？——市民として政治について考える」大阪市学校園教職員組合、2015年10月17日。

「市民の力で民主主義を取り戻す」円山野外音楽堂、九条の会京都・京都96条の会主催、2015年11月3日。

「平和憲法の現代的意義——軍事力と平和は相容れない」大学人9条の会、富山、2015年11月7日。

「ジェンダー視点からみた憲法破壊政治」左京区1000人委員会、京都大学、2016年1月10日。

「民主主義の力でとりもどす憲法に則った政治回復」非核の政府を求める会、東京学士会館)、2016年1月11日。

太田 修

・単著

『〔新装新版〕日韓交渉—請求権問題の研究』クレイン、2015年6月、415頁。

・共著

「식민지 지배와 전쟁을 둘러싼 또 하나의 폭력에 대하여」도시환 외『한일협정 50년사의 재조명Ⅳ-일제식민지배 피해자의 구제를 위한 법정책적 과제-』동북아역사재단(「植民地支配と戦争をめぐるもうひとつの暴力について」トシファン他『韓日協定 50年史の再照明Ⅳ-日帝植民地支配被害者の救済のための法政策的課題-』東北アジア歴史財団)、2015年11月、pp.227-252。

・論文

「日韓条約から 50 年—「解決済み」論を批判する」『ひょうご部落解放』第 158 号、2015 年 9 月、pp.37-44。

「日韓財産請求権「経済協力」構想の再考」『歴史学研究』No.937、2015年10月、pp.104-112。

「二重の被害をめぐる政治—日韓国交樹立と在韓被爆者—」『歴史評論』No.788、2015年12月、pp.33-47。

・その他(書評、エッセイなど)

「〈書評〉日韓会談の過程を探ることによって植民地支配・戦争責任に向き合う—新資料を活用した、今日の日韓歴史問題を理解するために必読の一書／吉澤文寿著『日韓会談 1965』『図書新聞』3233号、2015年12月5日、3面。

「考え続けるということ—日本軍「慰安婦」・「日韓合意」について—」『ひょうご部落解放』No.160、2016年3月25日、pp.56-57。

・学会報告

「日韓財産請求権経済協力構想の再考」2015年度歴史学研究会大会近代史部会「戦後 70 年からの問い直し—象徴天皇制・植民地支配の未清算・植民地認識—」、慶応義塾大学三田キャンパス、2015年5月24日。

「2015년, 한일조약-null and void-를 둘러싼 대립을 극복하기 위하여」(「2015年、日韓条約—null and void—をめぐる対立を克服するために」)「2010년 한일지식인 공동성명' 기념 제 5 차 학술회의 2010년의 약속, 2015년의 기대」(「2010年韓日知識人共同声明' 記念第 5 次學術會議 2010年の約束、2015年の期待)、韓国東北アジア歴史財団、2015年6月12日。

「「과거청산」을 둘러싼 대화」(「「過去清算」をめぐる対話」)／동북아역사재단, 세계국제법학회 한국본부 주최 한일협정 50년사의 재조명 국제학술회의「한일협정 50년의 성찰과 평화공동체의 모색」(International Conference on Reflecting upon the Korea-Japan Agreement in 1965 and Future Prospects for a Peace Community)、韓国東北アジア歴史財団、2015年6月22-23日。

「朝鮮戦争下の日常—ある労働者の日記から」第 301 回朝鮮近現代史研究会、青丘文庫(神戸市立中央図書館)、2016年2月14日。

「朝鮮戦争下のある労働者の生活—二つの社会、恐怖、平和への焦がれ」国際学術シンポジウム 日記からみた東アジアの脱植民地化と冷戦、同志社大学、2016年3月5日。

「식민지하의 분역-교토 유학시절의 鄭芝溶」2016 국제학술회의 戦後식민주의와 역사학 (Colonialism and History)」「植民地化の分裂—京都留学期の鄭芝溶」2016 国際学術会議 戦後植民地主義と歴史学)、韓国成均館大学校、2016年3月11日。

・招待講演など

「もうひとつの暴力と未来のための「過去清算」」東アジア青年交流プロジェクト「戦後70年、これからの東アジアの平和構想—日本と韓国、新たな関係へ」、エルおおさか、2015年4月27日。

「日韓条約から50年—植民地支配・戦争責任を考える」(財)神戸学生センター朝鮮史セミナー、(財)神戸学生センター、2015年6月18日。

「日韓条約50年—植民地支配・千号被害は「解決済み」か」2012年度同志社大学日朝関係史講座、同志社大学、2015年7月3日。

小山田 英治

・共著

“Reflection of the Global Anticorruption Initiative: Lesson Learned from Various Global Experiences” in R. Shiratori, M. Rozumny, K. Hashimoto (Eds.) *Building Democracies: Ukraine and Japan: Japan’s Democratization Assistance to Ukraine in 2015*、2016年3月、pp.173-187.

NIS Integrity Systems and Corruption Performance Measurements, Global Link Management (JICA 委託業務)、2016年3月、82項。

・論文

「ウクライナが挑むもうひとつの闘い」、『国際開発ジャーナル』No. 708、2015年11月、pp.54-55.

・その他(書評、エッセイなど)

”What is the Ukraine’s Way of Combating Corruption?” Kiev 電子新聞、2015年9月28日。

Corruption Risk Assessment Tool For Japanese Aid and/or Investment Effectiveness, Global Link Management (JICA 委託業務)、2016年3月、49項。

・招待講演など

“Transparency and Accountability in the government”, “Anti-Corruption initiative in Developing Countries”, “Disclosure of Public Information” (コーディネーター兼講師)、ウクライナ民主化回復(行財政)支援研修事業、JICA、東京、2015年5月11-21日。

“Transparency and Accountability in the government in developing countries”（講師）、
国家上級人事行政プログラム、人事院/JICA、東京、2015年6月2日。

「グローバル化を通じた人間の環境変化」（特別講師）、同志社国際高校、京都、2015年6
月13日・20日。

“Development and Governance”，環インド洋経済圏貿易投資促進研修事業、JICA、神戸、
2015年8月3日。

“Development, Governance and Integrity” (Special Lecture), Jindal Global Law School
in India, Delhi, India, 2015年8月21日。

“Global Trend of Integrity and Anti-Corruption” (Special Lecture) , バングラデシュ
政府内閣府, Dhaka, Bangladesh, 2015年8月26-27日。

“Transparency and Accountability in the government”, “Anti-Corruption initiative in
Developing Countries”, “Disclosure of Public Information”, ウクライナ民主化回復（行財
政）支援研修事業、クライナ外交アカデミー・JICA 主催、Kiev, Ukraine、2015年9月
14-15日。

“Democracy, Governance and Anticorruption: Relationship between the Level of
Democracy and Corruption-Theoretical Review and Some Case Studies ”（基調講演）,
International Conference on Democracy and Accountability, University of Airlangga,
Surabaya, Indonesia、2015年11月10日。

「開発途上国の透明性と説明責任」、上級国家行政セミナー、人事院/JICA、東京、2015年
10月30、11月11-13日。

「開発途上国における透明性と説明責任」、国家人事行政セミナー、人事院/JICA、東京、
2016年2月17日。

“Governance and Corruption” (Lecture)、UNITAR Hiroshima Programme de formation
sur l’anti-corruption et l’application de la loi dans la région du Sahel、United Nations
Training and Research Center (UNITAR)、広島、2016年2月25日。

“Global Initiative in Tackling Corruption” (Special Lecture)、Sultan Ageng Tirtayasa
University、Banten、Indonesia、2016年3月9日。

・社会活動

日本国連学会理事

一般社団法人広島平和構築人材育成センター（HPC）評議員

平和構築研究会理事

アジア政経学会書評委員

日本国際開発学会大会委員幹事

S

銭 鷗

・招待講演など

「王国維と科学—“勢力”の概念とその思想史学術史的背景」「東アジア古典学の方法—第17回 日本を読む—東アジア古典学の中で—」、京都大学大学院人間・環境学研究科、2016年3月7日。

T

富山 一郎

・ 共著

「戒厳状態と沖縄戦」川島正樹『記憶の共有をめざして』行路社、2015年8月、pp.393-408

・ 論文

「尋問空間のなかの知」(ハングル)『言葉と弓』(ハングル) 第8号、2015年5月、pp.208-229

「幻視者の言葉の在処」『文化／批評 (別冊)』2016年3月、pp.202-209

W

Fanon Che Wilkins

・ 論文

“Student NonViolent Coordinating Committee”, in Edward Blum ed., *America In the World 1776 present: A Supplement to the Dictionary of American History* Vol. 2. (Charles Scribner's Sons, 2016) pp. 978-979.

“Bandung Conference,” in Edward Blum ed., *America In the World 1776present: A Supplement to the Dictionary of American History* Vol. 1. (Charles Scribner's Sons, 2016) pp. 116-118.

・ 学会報告

“Understanding The African Struggle : Photography and the Popularization of the African Liberation Support Movement in the United States—1970 to 1974,” *Black Portraiture{s} II: Imaging the Black Body and ReStaging Histories*, Florence, Italy May 2016.